



2023年1月24日

各位

ENEOS株式会社

米国における太陽光発電事業 Cutlass ソーラーの商業運転開始について

当社（社長：齊藤 猛）が2021年4月に芙蓉総合リース株式会社（社長：織田 寛明、以下「芙蓉リース」）および、アドバンスド・パワー（Advanced Power AG、本社スイスツーク、CEO：トマス E. スパング、以下「AP社」）と共同で出資参画した、米国テキサス州での太陽光発電事業 Cutlass ソーラー（以下、「本発電所」）が商業運転を開始しましたので、お知らせいたします。

当社は、「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げる2040年長期ビジョンの実現に向けて、再生可能エネルギーを軸とした発電事業を海外でも積極的に推進しております。本発電所は、2021年4月にお知らせ[※]した通り、発電容量約140MWの大型太陽光発電所で、米国における当社初となる太陽光発電事業です。

米国では、気候変動対策投資を支援するインフレ削減法の法令化を背景に、再生可能エネルギーの導入が加速しています。本発電所が発電した電力はERCOT（Electricity Reliability Council of Texas: テキサス州の系統・市場運営機関）を通じ販売してまいります。

当社は、今後も、再生可能エネルギーをはじめとした環境配慮型エネルギーの供給を積極的に推進し、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」および目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。

<Cutlass ソーラーの概要>

名称	Cutlass Solar
所在地	米国テキサス州フォート・ベンド郡 (Fort Bend County, Texas, U.S.A.)
総発電容量(当社出資見合い持ち分容量)	約140MW(約70MW)
敷地面積	約700エーカー(約2.8km ²)
出資者	ENEOS株式会社、芙蓉リース、AP社
事業会社	Cutlass Solar LLC
運転開始日	2023年1月24日

<Cutlass ソーラー完成写真>



※ 2021年4月30日公表「[米国における太陽光発電事業への参画について](#)」

以上